

生 活

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	生活 101 102	A4 262	平成31年
4	大日本図書	大日本◆	生活 103 104	AB 282	
11	学校図書	学 図	生活 105 106	A4変型 256	
17	教育出版	教 出◆	生活 107 108	AB 276	
26	信州教育出版社	信 教◆	生活 109 110	AB 232	
38	光村図書	光 村	生活 111 112	AB 258	
61	新興出版社 啓林館	啓林館◆	生活 113 114	AB 290	
116	日本文教出版	日 文◆	生活 115 116	AB 280	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
16冊	東書・大日本・学図・教出・信教・光村・啓林館・日文

2 東京都立立川国際中等教育学校附属小学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「次代を担う児童・生徒一人一人の資質や能力を最大限に伸ばさせるとともに、豊かな国際感覚を養い、世界で活躍し貢献できる人間を育成する。」という教育理念を踏まえ、小学校から中等教育学校までの12年間を一体として捉え、児童・生徒の発達等に応じて柔軟な教育課程を編成する。

【生活における学習指導の展開】

- (1) 探究的な活動や体験を通して、社会や自然の面白さ、不思議さに気付き、自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、関わり等を理解させるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせる。
- (2) 自分自身や自分の生活について考え表現できるように指導する。
- (3) 周りの人や社会、自然に働きかけ、生活を豊かにできるように指導する。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 自ら課題を設定する力の育成につながる課題の箇所数	都立小中高一貫教育校教育内容等検討委員会報告書 第2章 令和3年度都立小中高一貫教育校教育課程に係る基本方針	個
b 日本の伝統・文化を扱っているページ数	同上	ページ
c 学び方や調べ方を扱っている箇所数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 「令和3年度都立小中高一貫教育校教育課程に係る基本方針」（以下、「基本方針」という。）「1（2）教育方針」の一つとして「自ら課題を認識し、論理的に考え、判断し、行動できる力を育てる。」が示されている。また、「3（2）各段階で育てたい力」では第1学年～第6学年（小学校）の育てたい力の一つとして「体験から課題を見いだす力」が示されている。さらに、「7（1）カ生活」の一つとして「日々の暮らしや自然に関して不思議を感じたり、気付いたりしながら『なぜ』を追究して学び、自立的にリサーチクエスチョンを設定できるようにする。」が示されている。このことから、自ら課題を設定する力の育成につながる課題の箇所数を調査する。
- b 基本方針の「1（2）教育方針」の一つとして「日本の伝統・文化を理解し尊重するとともに、多様な価値観を受容し、主体的に国際社会に参画する力を育てる。」が示されている。このことから、日本の伝統・文化を扱っているページ数を調査する。
- c 基本方針の「7（1）カ生活」の一つとして「具体的な活動や体験を通して、『考える技』、『調べる技』、『表現する技』等の自立した学習者となるために必要となる『学びの技』を継続的に学ぶ。」が示されている。このことから、学び方や調べ方を扱っている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】都立立川国際中等教育学校附属小学校 生活

	略称	2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	38 光村	61 啓林館	116 日文
内容	a	自ら課題を設定する力の育成につながる課題の箇所数	84	88	76	60	110	66	83
	b	日本の伝統・文化を扱っているページ数	52	38	25	38	60	19	64
	c	学び方や調べ方を扱っている箇所数	53	23	37	63	2	20	49